

Profile



指揮・編曲：御法川雄矢

Conductor・Arranger: Yuya Minorikawa

北海道岩見沢市出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後ヴィオラに転向し桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、2003年桐朋学園大学音楽学部卒業。2000年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。2001年ピアニスト村上弦一郎氏と共にGEN室内管弦楽団を立ち上げる。また同年12月には大学4年の若さで貞松・浜田バレエ団特別公演「くみ割り人形」(全幕)にて関西フィルハーモニー管弦楽団のを指揮しデビューする。2009年2月NHK交響楽団入団。指揮者として数多くのバレエ公演をはじめ関西フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、大阪交響楽団、静岡交響楽団、ロイヤルチェンバーオーケストラ等を指揮し、いずれも高い評価を受けている。2014年ハーモニーホール座間・日本の名作曲家シリーズVol.1「富田勲の世界」で源氏物語幻想交響絵巻(2014年完全版)を初演し大成功を収め富田氏から絶大な信頼を受ける。(ロイヤルメトロポリタン管弦楽団)また、シンガーソングライター半崎美子氏のオーケストラアレンジ、テノール佐野成宏氏のアルバム「The Christmas Song」の全曲をアレンジ、「どさんこクラシックス」でアレンジを担当するなどアレンジャーとしても活躍している。これまでに指揮を故 堤俊作、ヴィオラを故 江戸純子、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者、ヴィルトゥオーゾ横浜、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・カルテット、どさんこクラシックスのメンバーとして活動。カメラータ・ナガノ音楽監督。 <https://www.instagram.com/minoryyuya/>



ヴォーカル：半崎美子

Vo: Yoshiko Hanzaki

北海道出身のシンガーソングライター。札幌の大学在学中に音楽に目覚め、大学を中退し単身上京、パン屋に住み込みで働きながら曲を書き続けた。歌うと会場のどこかで必ず涙を流す人がいる。そんな個性豊かな歌声とメッセージ性に富んだ歌詞、そして生き方そのものに共感する人が全国から集まり、17年間どこにも所属することなく、個人で東京・赤坂BLITZの単独公演を3年連続開催、ソールドアウト。人の心に寄り添いながら作る歌は、全国のショッピングモールを回り歌い続け、出会った人々の人生に触れ、涙に触れて、生まれた。「ショッピングモールの歌姫」として数々のメディアでも取り上げられ話題となり、17年の下積みを経て、2017年4月にメジャーデビュー。NHKみんなのうた「お弁当はこのうた～あなたへのお手紙」や「サクラ～卒業できなかった君へ～」などを収録したミニアルバム「うた弁」はロングヒットとなる。同年「第50回日本有線大賞新人賞」を受賞。2018年3月、MBS/TBS「情熱大陸」では半崎美子の生き方や学校訪問の様子が放送され反響を呼び、11月には東京国際フォーラムホールAでの集大成コンサートで大成功させた。2019年5月、「明日への序奏」が教育芸術社より発売の中学生の音楽教材に掲載される。天童よしみさんへの楽曲提供で話題となった曲「大阪恋時雨」は、2019年、第70回NHK紅白歌合戦でも歌われた。4月21日、イオン北海道のTVCMソング「特別な日常」を収録したニューシングル「ロゼット～たんぽぽの詩～」を発売。自分の歌が自分自身よりも長生きすることを願い、歌が教科書に載ることが一つの夢である。

管弦楽

どさんこクラシックオーケストラ



2018年9月に北海道を襲った「北海道胆振東部地震」は、遠く都内等で活動する北海道出身【どさんこ】のクラシック演奏家も心を痛め、直ぐに仲間へ声をかけ行動を起こし「故郷の復興支援に少しでも力になれば」と、翌月に北海道胆振東部地震復興支援チャリティコンサートを東京オペラシティで開催。「北海道新聞社会福祉振興基金」を通じて義援金を届けた。故郷のために立ち上がり、助け合い分かち合う、これがどさんこの精神!。そして、演奏家たちは「やはり道産子の力、道産子だから生まれる音楽って凄いな!」と感じ、その故郷・北海道への心をもって、「どさんこクラシック」を結成。昨年11月に鷹栖町、岩見沢市で「どさんこクラシックス」を開催しました。北海道の地で育ち、全国各地で活躍している、どさんこクラシックアーティストが所属オケの垣根を越える。これも「どさんこ」アーティストたちの、故郷に対する熱い思いからです。

特別出演

HBCジュニアオーケストラ



北海道放送(HBC)が1964年に創設。現在、小学4年から高校3年までの約90名が在籍、常任指揮者・阿部博光氏(北海道教育大学名誉教授)の指導のもと練習に励んでいる。毎夏に定期演奏会「サマーコンサート」を開催のほか、北海道内各地で演奏を披露。海外公演もこれまでに6回実施し、最近では2018年にウィーンを訪問し、楽友協会「黄金のホール」にジュニオケの音を響かせた。また、HBCジュニアオーケストラからは国内外で活躍している多くの演奏家が輩出。「どさんこクラシックオーケストラ」のメンバーである森田昌弘氏、西本幸弘氏、阿部幸奈氏、向井航氏、富岡廉太郎氏、西澤誠治氏はHBCジュニアオーケストラの出身。これまでに「北海道文化賞」や「札幌市民芸術祭奨励賞」、「地域文化功労者表彰」(文化庁)などを受賞している。

HBC少年少女合唱団



HBC少年少女合唱団は、北海道の文化に貢献できる優秀な合唱団の育成を目的に、1957年「HBC児童合唱団」として発足し、65年に「HBC少年少女合唱団」として創設され、今年で創立56年を迎えた。合唱団は小学生のジュニアクラスと中学生・高校生のシニアクラスで編成されており、定期演奏会や各種コンサート、オペラ、テレビ、ラジオ出演などで幅広く活動。2018.19年に半崎美子さんと共演、CD「明日を拓こう」合唱バージョンに参加している。《受賞歴》2000年札幌市民芸術祭大賞 08年札幌市民芸術祭奨励賞 12年札幌市民芸術祭大賞 13年「フィレンツェ国際合唱フェスティバル」グランプリ(金のダビデ賞) 15年度札幌芸術賞 13年から7年連続、全日本合唱コンクール北海道代表として全国大会に出場 18年全日本合唱コンクール全国大会金賞 19年ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞

音響:東京音響通信研究所(石金慎太郎)

収録:はまなすアート&ミュージックプロダクション(竹内恭平 渡会純奈 島津凜音) アセント(竹中建三)

制作協力:キョードー札幌(浅野聡 松井菜美子)

HANZAKI(阿河俊明)

制作:ヴィガーK2(永武賢二 上月光 永武美寿々)

半崎美子 with どさんこクラシックオーケストラ2021 ～心にビタミン、明日を拓こう!～



指揮・編曲:
御法川雄矢



Yoshiko
Hanzaki

ヴォーカル:半崎美子

管弦楽:どさんこクラシックオーケストラ

特別出演



HBCジュニアオーケストラ



HBC少年少女合唱団

2021年9月20日(月・祝) 16:00開演 札幌文化芸術劇場 hitaru

主催:企画制作:ヴィガーK2(株) <http://www.vigor-k2.com/>

特別協力: **HBC**北海道放送 北海道放送 後援:札幌市・札幌市教育委員会 制作協力:キョードー札幌

【新型コロナウイルス感染症ガイドライン遵守についてお願い】

新型コロナウイルス感染症について、出演者、スタッフ一同、感染防止に努めます。ご来場いただく皆さまのご協力、ご努力をもって、本公演を実施したいと思います。

<p>必ず、 お読みください!</p>	<p>マスク着用</p> <p>必ず、【マスク着用】での来場をお願いします。マスク未着用、37.5℃以上の発熱、体調が良くないなど症状のある場合は入場をお断りいたします。</p> 	<p>感染防止対策</p> <p>入場の際は、お客様同士の距離を保ち、ご入場の際には非接触検温、消毒液などの感染防止をさせていただきます。</p> 	<p>感染防止対策</p> <p>出演者等への花束等を含むプレゼントは全てお断りいたします。</p> 	<p>飛沫感染防止</p> <p>公演中のスタンディング、声出し、撮影・録音、飲食は厳禁です。お守りいただけない場合はご退場をお願いすることがございます。</p> 	<p>その他</p> <p>市中の感染状況により、中止とさせていただきます場合がございます。チケット代のみ払い戻しいたします。詳細は、ホームページなどで発表いたします。</p>  <p>本事業は、「コンチングロー」(札幌市助成)事業費補助金により実施され、デジタル収録を行います。</p>
-------------------------	---	---	--	---	---